

膳所城遺跡発掘調査成果報告会 (20131110)




**発掘！！膳所城北の丸**  
—平成24年度発掘調査成果より—

公益財団法人滋賀県文化財保護協会  
調査普及課 副主幹 岩橋 隆浩

1

**本日の内容**

- ▶ 1. はじめに
- ▶ 2. 膳所城の沿革
- ▶ 3. 今回の発掘調査について  
原因・場所・調査のねらいなど
- ▶ 4. 調査の結果  
見つかった遺構と遺物
- ▶ 5. 調査成果のまとめ  
☛何がわかったのか？

2


**2. 膳所城の沿革**

- ▶ 関ヶ原合戦直後の**慶長6年(1601)**  
徳川家康が築城(天下普請)  
☛西国大名の抑えのため
- ▶ **戸田一西**(とだ かずあき)が入封
- ▶ **本多氏**→菅沼氏→石川氏
- ▶ **慶安4年(1651)**に再び**本多氏**が入封
- ▶ **明治3年(1870)**に廃城

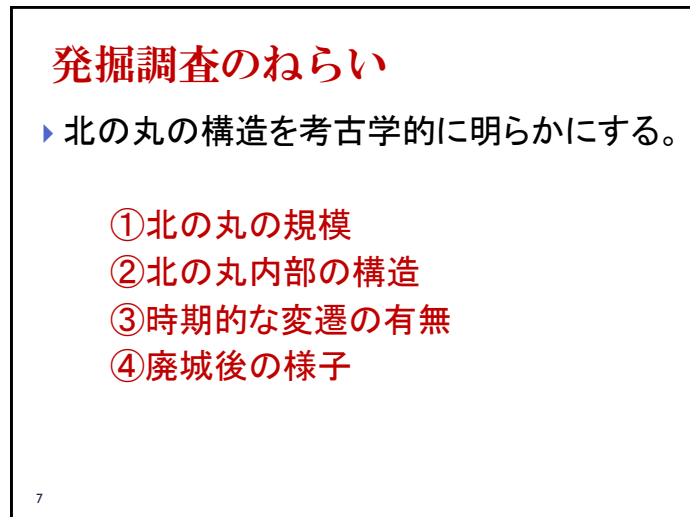
3

**3. 今回の発掘調査について**

- ▶ 調査原因: 近江大橋有料道路建設工事
- ▶ 調査期間: 平成24年4月～5月
- ▶ 調査面積: 271㎡



4



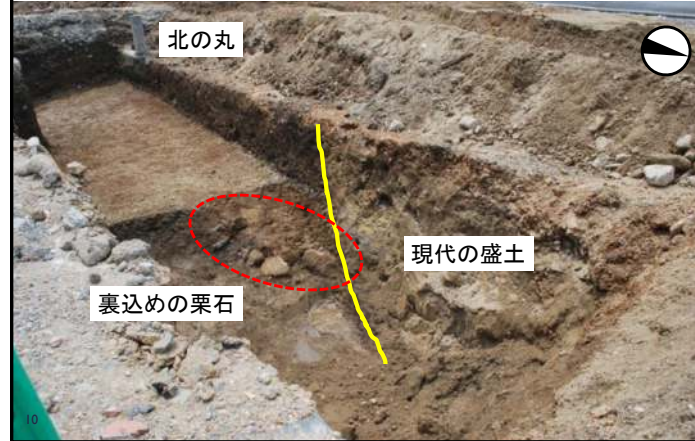
#### 4-1 北の丸北端を検出 (調査区1)

- ▶ 北端で約1.3~1.5mの段差を検出。
- ▶ 明確な石垣は未確認。
- ▶ 石垣裏込めと考えられる小石材を確認。
- ▶ 廃城後に石垣石材を転用するために除去。



9

#### 北の丸北端 (調査区1)



#### 4-2 北の丸内部 の状況を確認 (調査区2・3)

- ▶ 石組溝2条を検出
- ▶ 西側: 石組溝1
- ▶ 東側: 石組溝2



調査区2: 石組溝1

11

#### 石組溝1 (調査区2・3)

- ▶ 幅約1.5~0.5m
- ▶ 深さ約0.5m
- ▶ 埋土から遺物出土
- ▶ (17世紀前葉が中心)



12

石組みに使われていた石仏





### 石組溝2 (調査区3)

- ▶ 幅約0.3m
- ▶ 深さ約0.2m
- ▶ 規模からみて建物の雨落ち溝か？



13

### 4-3 新たに石垣を検出 (調査区3)



14

### 新たに検出した石垣 (調査区3)

上段石垣



下段石垣

15

### 4-4 たくさんの瓦が出土した



三巴文軒丸瓦



立葵文軒丸瓦

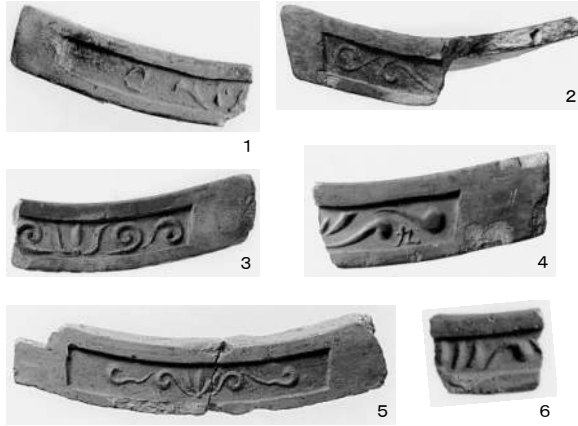
出土した軒丸瓦



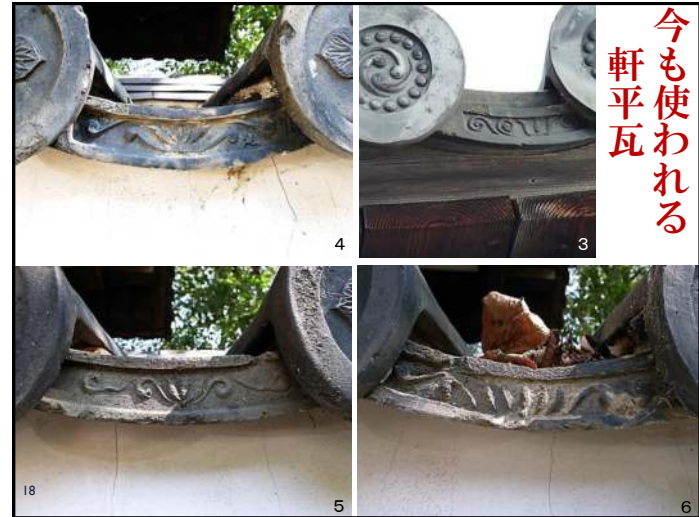
本多家の家紋(立葵)

16

### 出土した軒平瓦

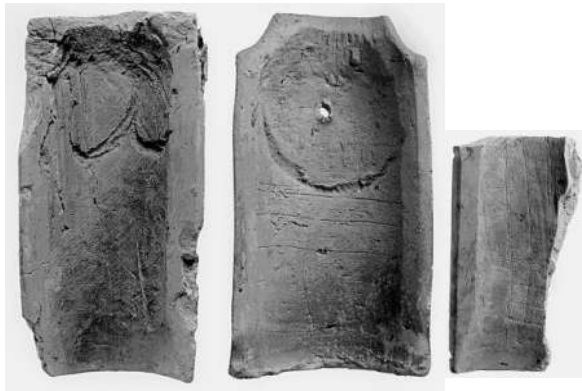


17



今も使われる  
軒平瓦

### 出土した丸瓦



大津城から来た瓦  
コビキAの瓦

膳所城のために焼かれた瓦  
コビキBの瓦

布に縫製痕のある瓦

19

### 4-5 石組溝1から土器・陶磁器類が まとめて出土



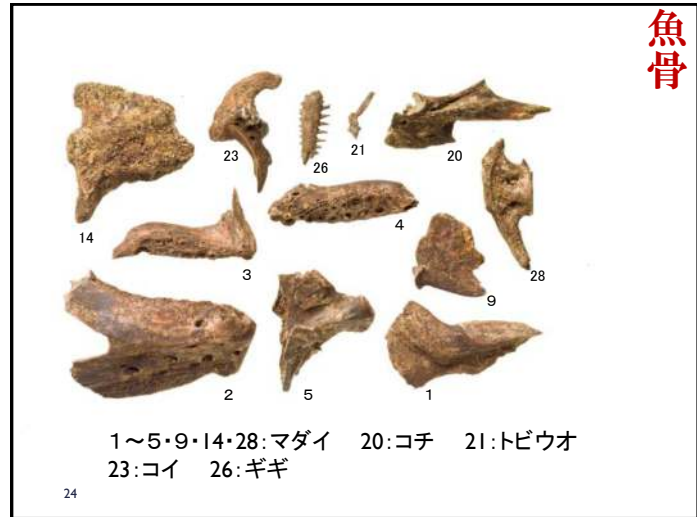
20



4-6 石組溝1から海産貝類と魚骨が出土



海産貝類

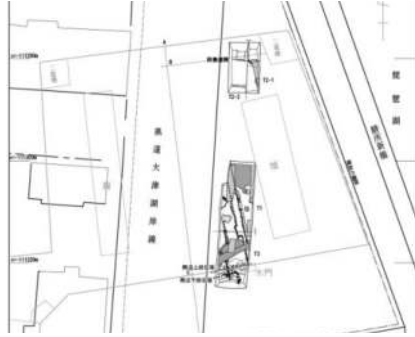


魚骨



## 5. 調査成果のまとめ

### 5-1 北の丸の規模について



25 ◀ 北の丸の北端と南端を検出した



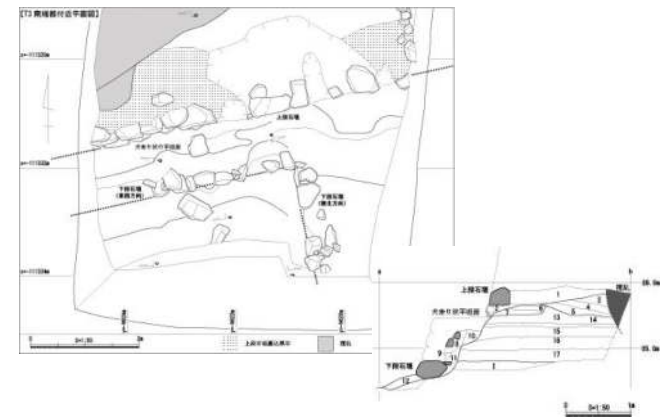
### 5-2 石垣の構造について



おそらく廃城まで使われていた石垣

27 ◀ 膳所城の石垣の構造を知る手がかり

### 石垣の構造 (調査区3)



### 5-3 北の丸の内部構造について



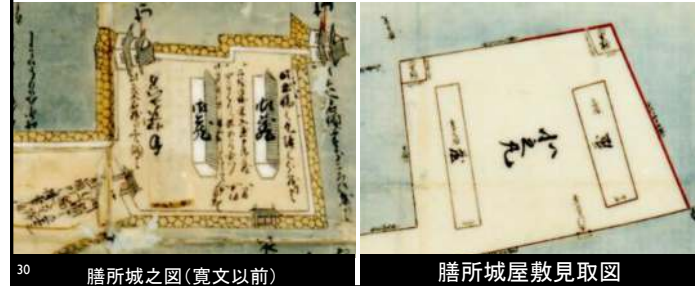
石組溝等を検出したことによって

☛ 郭内部の区画や土地の利用方法を推察

29

### 北の丸の内部構造

- ▶ 石組溝2は絵図の「蔵」にともなう雨落ち溝の可能性あり。
- ▶ 石組溝1は絵図に記載なし。



30

膳所城之図(寛文以前)

膳所城屋敷見取図

### 5-4 まとまって出土した遺物が示すこと



- ☛ 建物等の性格や時期、北の丸内での活動(郭の普請など)を推測する手がかり。→土器や瓦
- ☛ 城内の食生活を推測する手がかり→貝や魚骨

31

廃城後のさまざまな開発で、お城の痕跡は残っていないのでは？との思いもありましたが、小さな調査面積にも関わらず、さまざまな調査成果が得られました。

これらの調査成果が、膳所の歴史を考えるための礎(いしずえ)となれば、幸いです。

32



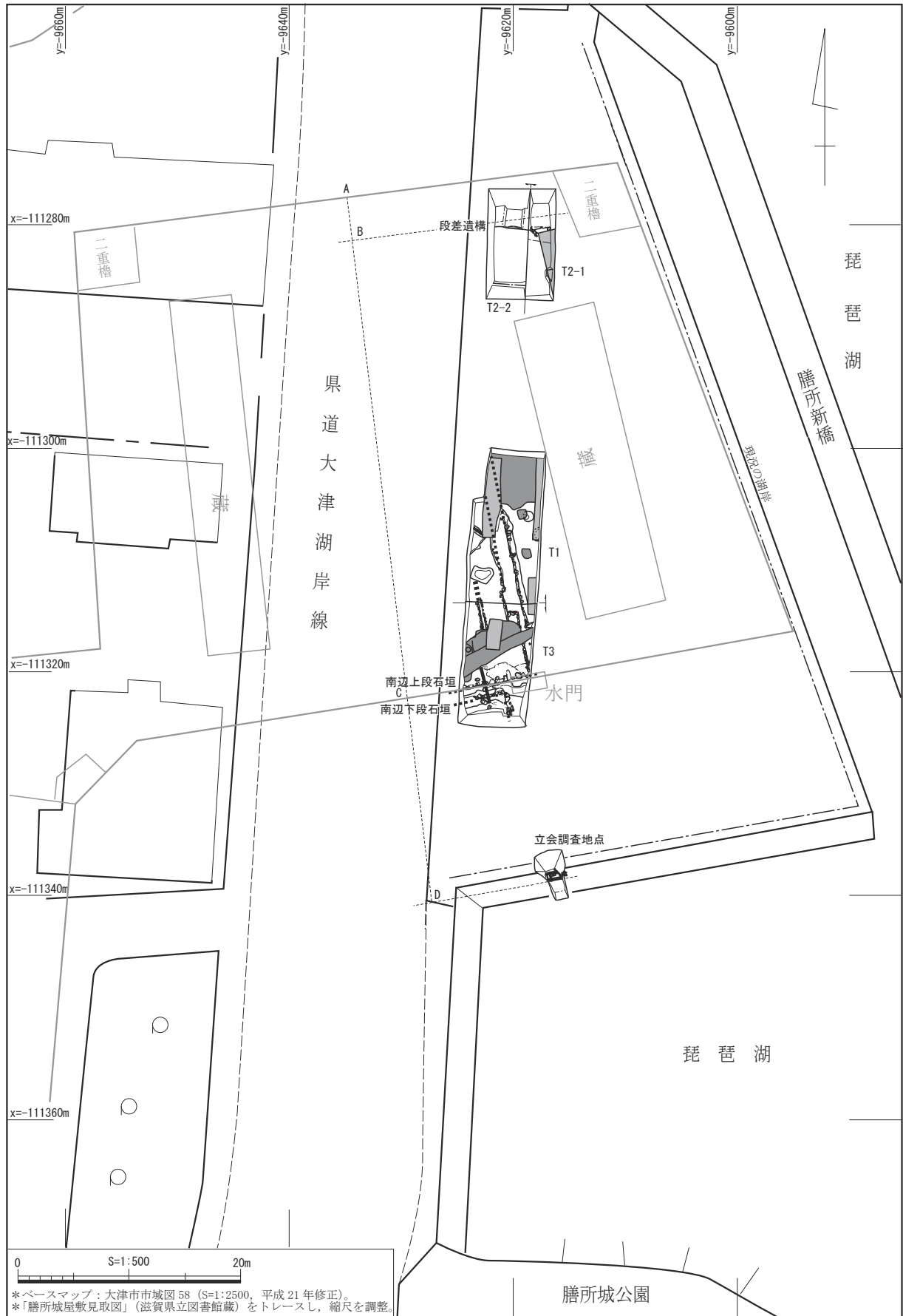
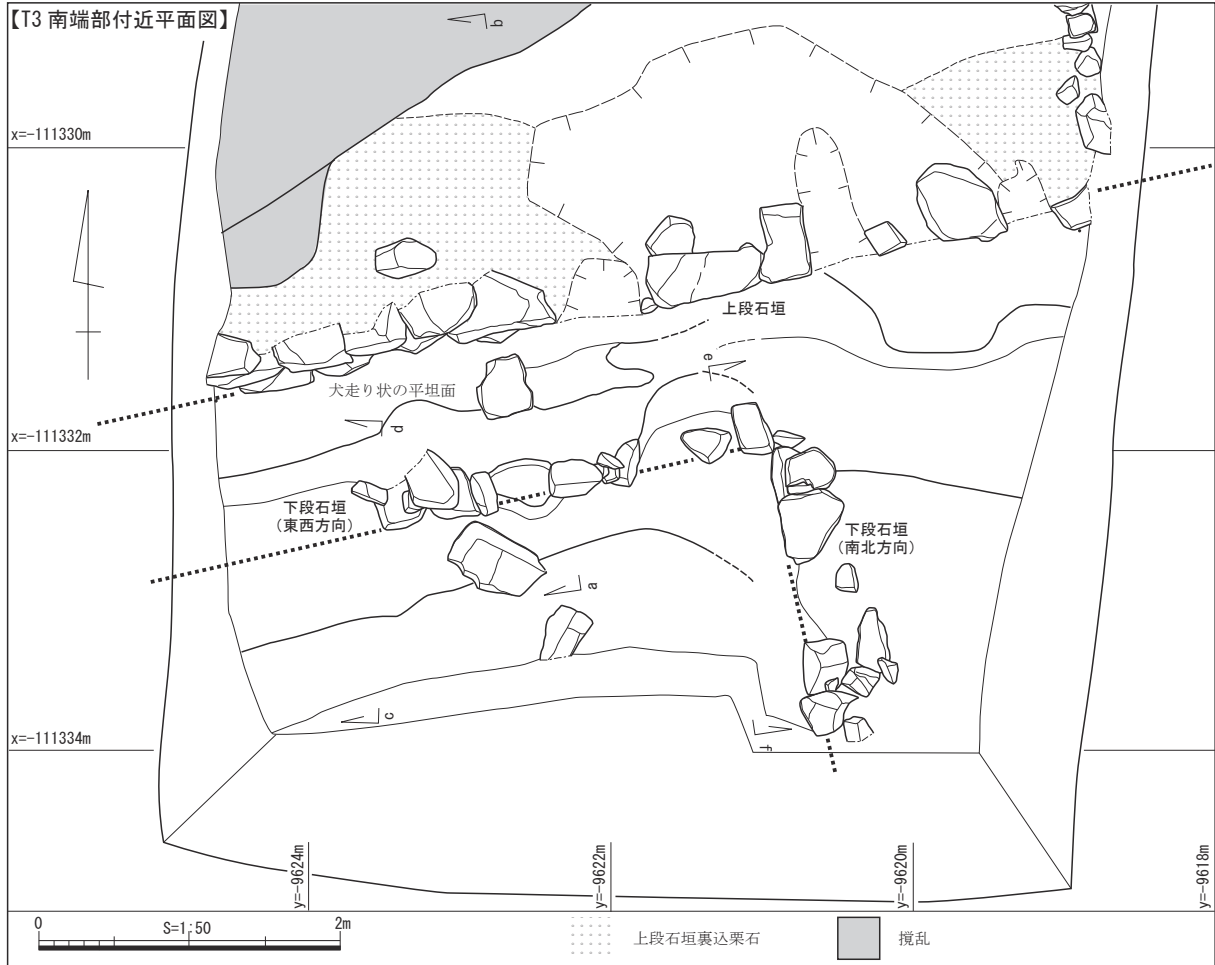
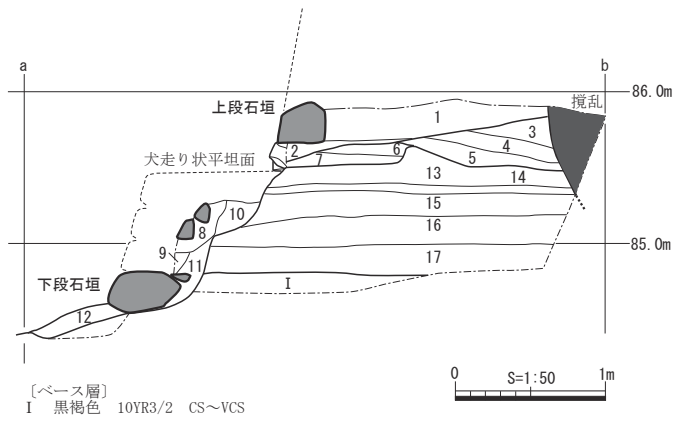


図 6-2 絵図から想定される北の丸と検出遺構

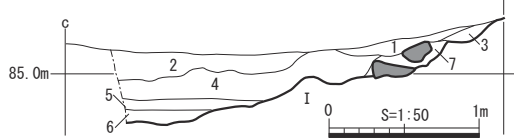


**【上・下段石垣直交方向の土層断面】**

- 〔上段石垣修復にともなう層群〕
- 裏込栗石 明黄褐色 10YR7/6 VFS~CLY  
+径10~20cmの亜角礫
  - 石材据付基礎土 黄灰色 2.5Y4/1 MS~CS
- 〔上段石垣にともなう層群〕
- 褐灰色 10YR4/1 MS~CS
  - 褐灰色 10YR3/2 MS~CS
  - 黄灰色 2.5Y4/1 MS~CS
  - 黒褐色 2.5Y3/2 MS~CS
  - オリーブ褐色 2.5Y4/3 MS~CS
- 〔下段石垣にともなう層群〕
- 裏込土 淡黄褐色 10YR8/4 VFS~SLT
  - 裏込土 黒褐色 10YR3/2 MS~CS
  - 裏込土 黄灰色 2.5Y5/1 FP
  - 裏込土 黒褐色 10YR2/2 MS~CS
  - 化粧土 淡黄褐色 10YR8/4 VFS
- 〔北の丸造成にともなう層群〕
- 当初の裏込土 黒褐色 2.5Y3/2 MS~CS
  - 暗赤褐色 5YR3/2 MS~CS 鉄分沈着顕著
  - 褐灰色 10YR4/1 MS~CS
  - 暗オリーブ灰色 5GY3/1 CS~VFP
  - 黒褐色 2.5Y3/1 CS~VFP

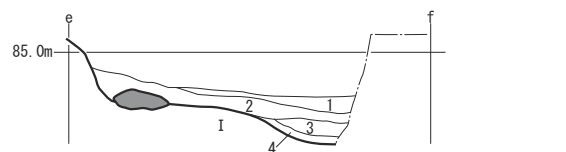


**【下段石垣（東西方向）の直交方向の土層断面】**



- 〔下段石垣前面の堆積土〕
- 明赤褐色 5YR5/6 MS
  - 褐灰色 10YR4/1 MS~CS (2~3mm細礫含む)
  - 赤褐色 5YR4/6 CS~MS
  - 黄褐色 10YR4/1 MS~CS (2~3mm細礫含む)
  - 明褐色 7.5Y5/8 SLT
  - 灰色 N4/0 MS~CS
  - 灰黄褐色 10YR6/2 MS~CS

- 〔ベース層〕
- I 褐灰色 7.5YR6/1 CS



- 〔下段石垣前面の堆積土〕
- 褐灰色 5YR6/1 CS (軽石・栗石含む)
  - 灰褐色 5YR6/2 CS (灰白色粘土ブロック含む)
  - 褐灰色 7.5YR6/1 CS (粘土ブロック含む)
  - 褐灰色 7.5YR6/2 CS (粘土ブロック含む)

- 〔ベース層〕
- I 褐灰色 7.5YR6/1 CS

図 5-8 T3南辺石垣関連図 (2)